

アライグマによる被害が発生しています！

アライグマによる農作物等の被害が全国的に急増しています。
市内でもスイカなどの被害が発生しています。
農作物の被害を防止するため情報をお寄せください。

アライグマとは？

アライグマはもともと、北米大陸に生息する動物です。日本にはペットとして輸入されましたが、成長すると外見の愛くるしさとは逆に性格は凶暴であるため、飼い主が捨てたことにより野生化してきました。

アライグマは繁殖力が強く、天敵がいないことから定着し、全国規模で生息分布を広げています。



写真提供：弘前市

アライグマの特徴

生態の特徴：

夜行性で、昼間は樹洞や巣穴、家屋の屋根裏、作業小屋、廃屋で休息する。木登りや泳ぎが得意。冬眠はしない。

アライグマ 学名 プロキユオン・ロトル
サイズ：頭胴長 41～60 cm 尾長 20～41 cm
体重 4～10 kg
寿命：野生 5 年、飼育個体では 13～16 年
交尾期：1～3 月 出産期：3～4 月
産仔数：3～6 頭

尻尾が長く(25～30 cm)、しま模様があります。

耳が大きく、白い縁取りがあります。

眉間に黒い筋、目の周りにマスク模様があります。

ひげが白く目立ちます。

手足の指は長く、はっきりと分かれています。



写真提供：環境省

アライグマとよく似た野生生物との見分け方

アライグマ



- ・体毛は全体的に白っぽい
- ・足は白い部分が多い
- ・歩くときは踵まで地面に付ける



前足

後足

写真提供：環境省

提供：野生鳥獣被害防止マニュアル（農林水産省）

タヌキ



- ・ヒゲは黒く目立たない
- ・体毛は全体に茶色っぽい
- ・尾が短く（20 cm以下）、縞模様は無い
- ・足は黒い



前足

後足

写真提供：環境省

提供：野生鳥獣被害防止マニュアル（農林水産省）

アナグマ



- ・顔は細長い
- ・耳が小さく、あまり目立たない
- ・尾は長い毛に覆われ太く、縞模様が無い
- ・ずんぐりとした体形で、足は短い



前足

後足

写真提供：環境省

提供：野生鳥獣被害防止マニュアル（農林水産省）

アライグマによる被害

- 農作物被害**：市内では、スイカの食害が多く発生しております。
カラス・タヌキなどの食害と勘違いされている方もおります。
スイカの食害は特徴がありますので確認してください。
他市町村ではトウモロコシ、ブドウ、イチゴ、鶏などにも被害が発生しています。



写真提供：関西野生生物研究所

スイカに丸い穴を開けて、中身をくり抜いて食べる。中は空洞。



写真提供：関西野生生物研究所

トウモロコシの皮をむいて実の部分を食べる。

- 生活環境被害**：家屋や神社などの天井裏に棲むことで糞尿による被害を及ぼします。
アライグマ回虫、狂犬病などの感染症による人やペットへの影響も懸念されます。



写真提供：弘前市

柱を登るアライグマ



写真提供：関西野生生物研究所

アライグマが出入りのために開けた穴



写真提供：関西野生生物研究所

アライグマの尿によるシミ

- 生態系被害**：カエルや野鳥の卵・ヒナ等を捕食して減少させたり、タヌキやアナグマ等と競合した結果、生息場所を奪い取ったりするなど、在来種への影響が懸念されます。



該当する内容があったら、アライグマが来ていたり、住み込んでいる可能性が高いので注意して下さい！

身近まで来ている可能性
があります！！

- ☐ 建物のまわりや側溝、池、川などに5本指の足跡がある。
- ☐ 庭にある果樹が荒らされた。
- ☐ 池の金魚、鯉、亀、軒下のツバメの雛がいなくなった、食べられた。
- ☐ 中型犬くらいの動物が屋根の上で動いていた。
- ☐ タヌキのような動物を目撃したが、尾にしま模様があった。

畑を荒らしているの
はアライグマかも！！

- ☐ 田、畑、ハウス、マルチなどに5本指の足跡がある。
- ☐ スイカに丸い穴が開いて中身が空になっていた。
- ☐ トウモロコシが根本から倒され食べられた。
- ☐ ジャガイモ、イチゴなどに今までなかったような農作物被害がある。

家や空き屋、寺社に住み込んでいる
可能性があります！！

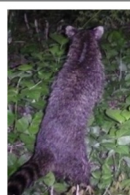
- ☐ 建物のまわりに5本指の足跡がある。
- ☐ 柱や戸袋、雨樋に5本指の泥のついた足跡や爪痕があり、上部に向けて登っている。
- ☐ 軒下の壁の一部が破壊されている。
- ☐ 天井板がずれていた。
- ☐ 天井にシミができた。
- ☐ 天井から雨漏りのように水滴が滴ってくる。
- ☐ 天井裏でこれまで聞いたことのないような大きな足音がする。
- ☐ 天井裏からクルクルという、甲高い鳥のような声が聞こえる。
- ☐ 天井裏に犬の糞のようなものが大量にある。



アライグマによる スイカの食害



アライグマによる スイカの食害



写真提供：
青森河川国土事務所



写真提供：
青森河川国土事務所



写真提供：原田茂徒治
リンゴの木に登っているアライグマ

[illegible]

凡 例	
	区域境界線
	市被害確認 (H23)
	生産者聞き取り被害確認 (H24)
	県・JA・市被害確認 (H24)
	目撃情報 (H24)

アライグマの生息地域の拡大・定着を阻止するために！

- ・農地に果実や野菜を放置しない
 - ・家庭ごみを放置しない
 - ・家屋への入り口となるような壁の穴などは塞ぐ
 - ・棲みかとなる廃屋を解体する
- など棲みにくい環境を作ることが大切です。



写真提供：関西野生生物研究所

アライグマと思われる動物をみた！ アライグマの足跡をみつけた！ 農作物への被害を受けた！



写真提供：関西野生生物研究所

農林水産課（☎0173-42-1109）へご連絡ください。
情報をお待ちしております。

- ・状況を確認し、箱わなを設置します。
- ・市が箱わなを設置する場合は、設置期間は30日間です。
- ・エサ（ドッグフード・スナック菓子等）は自己負担となります。
- ・箱わなが全て出払っている場合、お待ちいただく場合があります。

自分でアライグマを捕獲したい！ 自分の畑を守りたい！



箱わなを設置するには、狩猟免許の取得が必要となります。
しかし、講習会に参加すると、狩猟免許不要で、アライグマ捕獲
の箱わなを設置できるようになります。